

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
1 池田 貞雄	<p>1 令和7年10月1日各部局長宛てに通知した、令和8年度予算編成方針について</p> <p>(1) 「2 令和8年度予算編成における基本方針」について</p> <p>「(2) 持続可能な行財政運営に向けた取組の推進」の中に、「令和8年度予算編成から各部の一部事業を対象に一般財源の総額を定めて配分する「枠配分方式」を導入・実施することとする。また、政策的事業等の一般財源についても、令和7年度をベースとし、抑制を図ることとする。」とありますが、枠配分方式を具体的にお示しください。また、政策的事業の一般財源の抑制は、事業が遅れることにつながると思いますが、市の考えを伺います。</p> <p>(2) 「3 令和8年度予算編成における重点事項」について</p> <p>「(8) 市税徴収率の更なる向上に取り組むとともに、受益者負担の見直しによる手数料や使用料等の改定」とありますが、手数料や使用料等の改定基準の考え方を伺います。また、新しく制定する手数料や使用料等があればお示しください。</p>	市長
2 嶋野 加代	<p>1 部活動の地域展開について</p> <p>(1) 本市における基本的な考え方と方向性について</p> <p>本市の部活動の地域展開について、学校の先生も関わっていくのか、極力民間にお任せしようとしているのか等について、基本的な考え方と方向性について伺う。また、朝練などの日ごろの練習と、「大会」などへの参加の考え方についても伺う。</p> <p>(2) 実証事業の検証と来年度に向けて</p> <p>現在、いくつかの部活動で地域展開の実証事業が行われていると聞いている。その検証結果と来年度に向けての展開について伺う。</p> <p>(3) 文化系の部活動について</p> <p>プラスバンド部などの指導者の確保や活動場所について、現状と今後について伺う。美術部や茶道部、書道部などについても伺う。</p> <p>(4) これまでになかった部活動の地域展開について</p> <p>ニュースポーツやドローンの操作、あるいはボランティア活動など従来にはなかった部活動の地域展開につ</p>	教育長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	いて伺う。 2 中学校の授業における「討論」の導入について 中学校の「選挙」の授業で「討論形式」が導入されていることを評価している。同様の授業が他にもあるかを伺うとともに、課題と今後の工夫について伺う。 3 ゾウキリンの着ぐるみの手入れと新調について 夏祭り等で貸し出されたゾウキリンに汚れが目立っていたと聞いている。手入れ状況と新調予定について伺う。 4 中央公民館の建替えにおける図書館の設置について 公共施設再配置計画において、中央公民館の複合施設化及び道場地内への移設・建替えが予定されている。その際、福祉の里図書館クラスの図書館を併設して、南部地区の拠点施設とすべきと考えるがいかがか。	教育長
	5 町内会の活性化について (1) デジタル町内会について 石神町会では、従来の回覧板を残しつつ、内容をスマートで見ることができ、かつ、行事出席の連絡や安否確認など双方向に連絡ができ、町会費も電子マネーで決済できるようなシステムを導入する計画がある。こうした町内会のデジタル化の取組について、市の支援策を伺う。 (2) 町内会ボランティア移送サービスについて 石神町会では、「石神の足」という名称のボランティア移送サービスを展開し、好評を得ている。こうした会員同士の助け合いに基づく取組などを情報共有し、町内会に入って良かったと思えるまちづくりを進めるべきと考えるがいかがか。 (3) 町内会連合会の今後の在り方について 町内会連合会の活動の現状と今後に向けての取組状況について伺う。	市長
	6 上下水道管が架設されている橋梁の耐震化について 地震で橋梁が損傷を受けると、架設されている上下水道管も損傷し、長期にわたって断水が起きたり下水道が使えないなど、大きな被害が予想される。本市における橋梁への上下水道管の架設状況を伺うとともに、その耐震化の状況も伺う。	市長
	7 道路維持補修と路面標示について (1) 馬喰橋通りの嵯峨山通り交差点から堀ノ内病院入口	市長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>付近までの維持補修について 道路の表面に亀裂や穴があり、危険な状況が見られる。損傷が激しい部分だけでも暫定補修ができないか伺う。</p> <p>(2) 馬喰橋通りの嵯峨山通り交差点から黒目川通り付近まで及び東久留米志木線の石神小学校交差点から水道道路までの路面標示について 路面標示が以前どんな標示があったかも分からず状況になっている。中央の白線や横断歩道など、交通安全に必要と思われる標示も消えかかっている。早急に改善すべきと考えるがいかがか。</p>	
3 上田美小枝	<p>1 リチウムイオン電池の分別ルールの徹底について リチウムイオン電池を原因とした火災の発生が近年増加しています。リチウムイオン電池が資源プラスチックごみに混入している事例が増えていますが、分別ルールの徹底について伺います。</p> <p>2 若年層の薬の過剰摂取（オーバードーズ）について 厚生労働省研究班の2024年度調査で、咳止め薬や解熱鎮痛剤などの、市販の一般用医薬品を過去1年内に乱用目的で使った経験のある中学生は1.8%（約55人に1人）と推定されることが分かりました。若年層を中心に薬の過剰摂取（オーバードーズ）が問題となる中で、初めて算出されました。乱用の背景には、孤立や「生きづらさ」が見られるとしています。新座市において、中学生等のオーバードーズにどのような対策を講じていますか。市の見解を伺います。</p> <p>3 児童・生徒の自殺防止対策について 故意に自分を傷つけた6歳から18歳の自損行為による緊急搬送事案は2022年に全国で3,400件あり、自殺者は年々増加して500人を超えるました。自殺を予防する対策について伺います。</p> <p>4 埼玉県が進めているメタバースを活用した不登校児童・生徒等支援事業について 埼玉県では、自宅から外に出たがらない不登校児童・生徒のためにインターネット上のメタバースの事業を導入し、新座市においても試行参加が2025年10月から始まると聞いていますが、進捗状況について伺います。</p>	市長 市長及び 教育長 市長及び 教育長 教育長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
4 堀内 博史	<p>1 市役所職員の社会ルールの順守と職場環境改善について</p> <p>良い市民サービスを行うためには、それを実践する職員の職場環境を整えることが大切だと思います。</p> <p>(1) 対外時の名刺使用について</p> <p>市職員は、対外的に名刺を出す慣習が弱いと思われます。名刺交換はビジネスマナーです。市がしっかりと名刺の支給、使い方を指導していくべきと考えますが、いかがでしょうか。</p> <p>(2) リフレッシュルームの確保について</p> <p>昼休みだけではなく、業務時間中の適度な休憩は、業務効率の向上に必要だと思います。各フロアにリフレッシュルームのような休憩スペースを設けてはいかがでしょうか。</p> <p>(3) 食事場所の確保について</p> <p>自席で食事をとっている職員を多く見かけます。自席での食事はオンとオフの意識が希薄になり、あまり望ましいとはいえないません。本庁舎地下の休憩室だけでは収容人数が対応できていませんが、今後どのように対応されるのか伺います。</p> <p>(4) セクハラ・パワハラへの対応について</p> <p>ここ3年間で市の職員間、あるいは議員と職員の間でのセクハラ・パワハラの実態はいかがでしょうか。あってはいけないことですが、その時の対応方法について、現在、市ではどのような体制を取っているでしょうか。</p> <p>(5) 自転車通勤時のヘルメット装着の徹底について</p> <p>令和6年9月定例会で、私のヘルメット装着についての質問に対し、市長からは市職員が率先してヘルメットを装着し、周囲の行動規範となるように周知を図っていきたいとの答弁がありました。自転車用ヘルメットの装着は徐々に定着していると感じていますが、交通安全のためにも普及に向けた地道な継続が大切です。今一度全庁を挙げてヘルメット装着の徹底を図っていただきたいと思いますが、市の考えを伺います。</p> <p>2 新座市のラスパイレス指数について</p> <p>新座市のラスパイレス指数は、令和6年度決算で99.4%と4年連続100%を割っており、朝霞地区4市の中で一番低くなっています。他の3市は、令和5</p>	市長
		市長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>年、令和6年はいずれも100%を超えていました。市民にとって良い市民サービスを行うためには、職員の待遇は大切です。市はこの状況をどのように考えているのでしょうか。ラスパイレス指数について、市の見解を伺います。</p> <p>3 平和事業について</p> <p>今年は戦後80年の節目でしたが、戦争と平和をテーマにした情報を数多く目にしました。これまでの定例会においても多くの議員が平和事業の大切さを訴えていましたが、私も戦争の悲惨さと平和の大切さを後世に伝えいかねばならないと改めて感じるところです。市としてこのテーマにどのように取り組んでいますでしょうか。そして、今後の取組についての考え方を伺います。</p>	市長
5 鈴木 秀一	<p>1 地域経済活性化対策の充実について</p> <p>市内事業者は、原材料の物価高や人件費の高騰で、本当に苦しい環境に置かれています。商店街活性化支援策や空き店舗有効活用の検討、さらに、「新座市市内事業者優先発注実施方針」の推進、市内で生産・製造された農産物・食料品・工業製品等の市内外へのPRや販売促進などの事業を令和8年度予算に盛り込み、地域経済活性化に取り組むべきです。市の見解を伺います。</p> <p>2 地域の課題解決のための市独自の交付金制度の創設について</p> <p>少子高齢化が進む現在、地域では様々な課題が出てきています。私道の道路維持問題や、私道への新たな街灯・交通安全啓発看板等設置問題、ごみ不法投棄問題や私有地の大木除去問題など山積しています。この問題を解決するため、市民から提起のあった課題を解決する市独自の交付金制度の創設について、市の見解を伺います。</p> <p>3 新座市南部の雨水対策について</p> <p>(1) 石神四丁目地内雨水枝線工事の進捗状況について</p> <p>新座市公共下水道事業雨水整備10か年計画によると、令和7年度に基本設計を行うとされています。令和7年度の基本設計の内容と、今後の整備計画の実施の見通し及び工事完了までの対応について、市の考え方を伺います。</p> <p>(2) 栗原緑地公園の豪雨時土砂崩れ対策について</p>	市長 市長 市長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>8月13日及び同月21日に集中豪雨がありました が、栗原緑地公園は豪雨のある度に斜面から汚泥が流 れ出て、付近の住民の方はその都度、清掃を強いられ ます。栗原緑地公園は市で管理しています。大雨で土 砂が流れないよう、根本的解決を施すべきです。市の 見解を伺います。</p> <p>(3) 私道の雨水排水管清掃等についての周知強化及びコ ミュニティ施設整備補助金への項目追加の検討につい て</p> <p>近年、予想を上回るゲリラ豪雨が頻繁に発生し、私 道でも冠水が多く見られます。市道は市が管理してい るので市が対応しますが、私道は所有者が対応しなけ ればなりません。所有者が対応しやすくなるように、 排水管清掃の重要性をPRするとともに、排水管清掃 の業者を紹介したり、更にはコミュニティ施設整備補 助金の対象枠に排水管清掃や排水管修繕工事等の項目 を増やすなど、検討ができないか伺います。</p> <p>4 ベビーブック事業の実施について</p> <p>越谷市では、「ベビーブック事業」を今年7月から開 始しました。「ベビーブック事業」は「生まれてきてくれて ありがとうございます」の気持ちを保護者に伝えるために、0 歳から1歳児向けの絵本を名前入りで贈呈しています。 素晴らしい取組であると思います。新座市も是非行うべきと 強く感じます。市の見解を伺います。</p> <p>5 野良猫を取り巻く問題のセミナー開催の令和8年度の 取組について</p> <p>令和7年第1回定例会で提案させていただいた、野良 猫を取り巻くセミナーの開催について、市へも野良猫に 関する相談が多く来ており、セミナー等で野良猫問題の 周知を図ることは有効と認識されています。令和8年度 の取組について伺います。</p> <p>6 祖父母手帳の導入について</p> <p>福岡県大牟田市では、祖父母世代の孫育てを支援する 「祖父母手帳」を導入し配布しています。利用者から は、分かりやすく非常に助かるとの声が出ています。 夫婦共働き世帯が増え、祖父母が孫育てに参画する機会 が増えています。新座市でも導入すべきと考えますが、 市の見解を伺います。</p>	市長及び 教育長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>7 子どもたちの安全確保に向けた横断歩道の移設について</p> <p>石神3-19-32付近の、栗原方向から来る道と黒目川通りとのT字路の交差点では、信号が青の時、栗原方向側から車がスピードを出して左折するので、スーパー公園等で遊ぶ子どもたちが横断するのに危険です。黒目川通りを渡る横断歩道を石神3-19-33のドラッグストア側に移設できないか、市の見解を伺います。</p>	市長
6 伊藤信太郎	<p>1 町内会活性化のためのサポート体制について</p> <p>町内会への加入者率が全国的に減少の一途を辿っています。その理由としては、近所付き合い等の住民同士のつながりの希薄化や高齢化の進行、町内会役員の担い手の不足、イベントへの参加者の減少などが考えられています。当然、町内会自体で解決に向けて努力をしなければならない課題が多くありますが、町内会が市から受けている依頼事項の多さにも改善の必要性を感じます。また、社会が成熟し、価値観が多様化してきますと、従来私的な問題であった空き家問題を始めとして、日常生活の中での福祉、衛生等といった様々な問題に行政の積極的な関与が必要になってきました。町内会だけでは荷が重すぎることから、地域で扱っている諸課題については、市との協議がより必要となってきていると考えますが、市の対応を伺います。</p> <p>2 市内に点在する宅地擁壁について</p> <p>令和7年9月に杉並区で老朽化した擁壁が崩壊するという事故が発生したほか、日本各地で同様の事故が発生しています。当市でも擁壁に囲まれた宅地が点在することから、注意喚起が必要だと考えます。宅地擁壁の予防保全対策などを市民に周知すべきと考えますが、市の見解を伺います。</p> <p>3 野火止用水の管理体制について</p> <p>「雑木林とせせらぎのあるまち」をキャッチフレーズとしている当市にとって、「野火止用水」は欠かせない歴史的存在であります。そのため、市としても植栽の剪定や景観維持に資金と労力をかけています。しかしその一方で、法面・天端にサツキと木々が生い茂っているために、歩道を散策していても用水を臨むことができな</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長及び 教育長</p>

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>い、という苦情が出ています。また、新住民が増え、野火止用水に关心を持つ人たちが少なくなってきたことに危惧する人も多くなっています。12月6日の野火止用水クリーンデー等を機に、意識の向上を図ってはいかがか、市の見解を伺います。</p> <p>4 新座ブランド品の普及について</p> <p>市制55周年を記念して2回目の「新座ブランド品」の認定がなされました。より多く反響を得るために、普及活動を期待するところですが、現時点では購入のために店先まで足を運ぶことができない場合、購入の手続が難しく購入できないという苦情があります。購入方法の簡素化について、市の見解を伺います。</p>	市長
7 鈴木 明子	<p>1 食品ロス削減について</p> <p>(1) 食品ロス削減対策モデル事業（m o t t E C O）について</p> <p>m o t t E C Oは、環境省・消費者庁・農林水産省が推奨する食品ロス削減啓発運動で、飲食店で食べきれなかった料理を自己責任で持つて帰る行為の愛称です。市も導入してはいかがでしょうか。</p> <p>(2) 食品ロス削減推進キャンペーンについて</p> <p>食品ロス削減月間に合わせ、様々な取組をしている自治体があります。高松市では、フードドライブで食品を提供すると、地域の加盟店で使用できる地域ポイントが付与されます。宮代町では、スーパーマーケットでの賞味期限が迫った商品の購入、またお持ち帰りパックの使用などでシールがもらえ、ご当地商品券に応募できます。市でも取り組まれてはいかがでしょうか。</p> <p>2 不登校児童・生徒の支援について</p> <p>文部科学省の調査によると、小・中学校における不登校の児童・生徒数は、12年連続で増加しています。そこで、以下の支援について伺います。</p> <p>(1) 校内教育支援センターについて</p> <p>市では、校内教育支援センターの支援員配置の充実など、支援環境の整備を促進しています。今年度、市では小学校1校に新たに設置されましたが、今後の校内教育支援センターの新設及び支援員配置の充実について伺います。</p>	市長及び 教育長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>(2) 公共施設への教育支援センター設置について 盛岡市では、今年度公民館4館で、学校にいけない、休みが続いている子どもたちに「サテライト分室」を設置しました。市でも、より自宅に近い場所で勉強ができる環境づくりをしてはいかがでしょうか。</p>	
8 野中 弥生	<p>1 増木あすか通り（市道第108号線）の植樹帯について 当該道路は、電柱の地下埋設により植樹の成長が阻害され枯れている箇所があり、課題とされています。また、暑さ対策で木陰がほしいとの市民の声もあります。</p> <p>(1) 今後の方針について 当該道路の植樹帯についてどのように対応されるのか、また、今後設置される市道の無電柱化と植樹帯について、市の考え方を伺います。</p> <p>(2) ストリートプランツ事業の実施について さいたま市では、可動式の植栽を用いて、緑を感じながら滞在できる空間により賑わいの創出等を目指すストリートプランツプロジェクトを実施しています。新座市でも植栽を考える上で参考にできる取組だと考えますが、市の見解を伺います。</p> <p>2 市営庭球場のオムニコートへの改修について 市営庭球場のオムニコートへの改修について、要望書等が出されるなど、多くの市民からのご要望があります。スポーツ振興くじ助成金の活用、クラウドファンディング等の活用による設置ができないか、市の見解を伺います。</p> <p>3 専門職の採用と中途採用について 市の専門職採用と中途採用について、基本的な考え方を伺います。明石市では弁護士の資格を持つ方が職員として多く採用されていると伺いました。市民からのクレーム対応や納税相談、債務相談、DV相談、児童保護等、職員としての業務に弁護士の知見と経験を活かすことができるのではないかと考えます。また、弁護士以外でも民間で様々な経験を積んだ方の積極的な採用も必要ではないかと考えますが、市の見解を伺います。</p> <p>4 聞き取り困難症（L i D／A P D）への理解と周知について L i D／A P D（聞き取り困難症／聴覚情報処理障</p>	<p>市長</p> <p>市長及び 教育長</p> <p>市長</p> <p>市長及び 教育長</p>

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>害）は、聴力には異常がないのに言葉として聞き取ることが困難な症状を言います。研究によると子どもの1%から3%がL i D／A P Dと推計されていますが、現時点で明確な治療法がなく、当事者や医療の努力では限界があります。教員や市民向けの講座の開催や、パンフレット、チラシの作成、市ホームページへの掲載等により周知していくべきと考えますが、市の見解を伺います。</p> <p>5 D A A（デジタルアクセシビリティアドバイザー）の育成について</p> <p>現在、身体機能や認知機能に制限のある人たちが置き去りになるデジタルデバイドが課題となっています。D A A（デジタルアクセシビリティアドバイザー）とは、困りごとに合わせて I C T 機器を適切にコーディネートしサポートできる知識と技術を認定された人材であり、デジタルアクセシビリティのマインドを持つ支援者とも言えます。この認定試験に職員が挑戦し学ぶことで、市民の誰もが気軽にデジタルの恩恵を受けられる環境を創出できるようになるのではないかと考えますが、市の見解を伺います。</p>	市長
9 伊藤智砂子	<p>1 保育士の処遇改善及び人材確保の更なる充実について</p> <p>(1) 本市独自の処遇改善の取組について</p> <p>東京都と隣接している本市が、保育士を確保するためには、高い給与額や手当を充実させることが重要です。国の処遇改善等加算のほかに、市独自の処遇改善の取組をすべきと考えます。市の見解を伺います。</p> <p>(2) 「保育のお仕事就職相談会」の実施について</p> <p>保育の現場から、保育士確保が困難であるとの声があります。市主催、ハローワーク朝霞共催の「保育のお仕事就職相談会」は、市内の保育園・幼稚園・放課後児童クラブの魅力を知っていただくための就職相談会です。相談会による保育園とのマッチング効果を踏まえ、実施日程及び開催回数等を検討してはいかがでしょうか。</p> <p>(3) 保育士の魅力のアピール及び埼玉県保育士・保育所支援センターの周知による保育人材の確保について</p> <p>こども家庭庁では、保育の魅力発信の取組について「保育人材確保は喫緊の課題である。処遇改善や職場</p>	市長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>環境づくりの支援などの政策的な取組と併せて、保育の魅力・イメージ向上等について、重点的に取り組む」とされています。さらに、こども家庭庁ホームページでは、「ハローミライの保育士」などのコンテンツを紹介しています。また、保育士・保育園支援センターでは、保育所の人材確保と潜在保育士の職場復帰を支援しています。本市でもこのような取組を活用してはいかがでしょうか。</p> <p>2 マイナンバーカード電子証明書の更新手続窓口の混雑対策について</p> <p>マイナンバーカード電子証明書の更新による窓口混雑は、2025年から2026年にかけてピークを迎える見込みです。特に、2020年から2021年にマイナンバーカードを取得した方の更新が集中するため、2026年春頃まで混雑が続く可能性があります。混雑解消及び待ち時間の短縮の方策として、予約制の導入及び出張所窓口の増設と合わせて、受付場所である東北出張所、栗原出張所の更なる周知をすべきと考えます。市の見解を伺います。</p> <p>3 災害時の透析患者の安全確保及び対応マニュアルの作成について</p> <p>(1) 本市の透析患者が災害時に避難・治療が継続できる体制について</p> <p>災害時の透析治療は、大量の水と電気が必要です。停電などで治療が中断することは、透析患者の生命に直結する重大なリスクです。有事の際に透析施設に対して水や電気を優先的に供給し、避難・治療が継続できる体制の整備について、市の見解を伺います。</p> <p>(2) 市独自の「災害時透析患者対応マニュアル」の策定について</p> <p>埼玉県では災害発生における透析医療を確保するため、「災害時透析医療活動マニュアル」を作成しています。</p> <p>マニュアルでは、透析患者の情報収集について、市町村と連携し、透析患者を支援する行動指針も示されています。市としても避難所の確保及び透析患者の安全確保のために、市独自の「災害時における透析患者対応マニュアル」の策定をすべきと考えます。市の見解を伺い</p>	市長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>ます。</p> <p>4 文化芸術活動の振興の更なる充実について</p> <p>(1) 文化芸術活動の環境整備について</p> <p>市民ギャラリー以外にも、市民会館及びふるさと新座館のホワイエを活用した展示をしてはいかがでしょうか。</p> <p>(2) 次世代への文化芸術の継承、担い手の育成について</p> <p>第5次新座市総合計画の施策評価では、新座快適みらい都市市民まつり文化祭来場者数が目標を下回っています。市内の小・中学校の児童・生徒が文化芸術を鑑賞できる場として、文化祭の発表の場に足を運んでいただけよう、周知の工夫をしてはいかがでしょうか。</p> <p>5 豪雨時の八石小学校近隣住宅の冠水対策について</p> <p>令和7年9月11日に大雨、洪水警報が発表されました。道路冠水が市内で32件ありました。また、令和6年7月31日にも記録的短時間大雨情報が発出されました。野寺二丁目8番付近の住宅裏では、八石小学校の校庭との境目から流れる雨水が住宅の間に滞留するため、改善を求める連絡を頂きました。大雨のたびに不安であるとのことから、八石小学校校庭への雨水貯留施設の設置の検討も含む冠水対策について、市の見解を伺います。</p> <p>6 馬場第二公園内トイレのリニューアルについて</p> <p>令和6年第1回定例会で、馬場第二公園のトイレの改善の質問をしました。当該公園内トイレは近隣住民から聞きとったところ、毎年多くの住民が参加される馬場二丁目祭りの時をはじめ、配達関係の方、公園で遊ぶ子どもたち、保育園の園児等、多くの方が利用されているとのことです。主に老朽化による衛生面と、防犯の点からもリニューアルのご要望を多く頂きます。</p> <p>リニューアルの計画について、市の見解を伺います。</p>	教育長
10 片山 敏子	<p>1 「手話言語の国際デー」に合わせたブルーライトアップの取組参加について</p> <p>「手話言語の国際デー」（9月23日）に合わせて、世界各地の施設などを「世界平和」を表す青色にライトアップするプロジェクトが行われています。日本全国でも、公共施設等を青色にライトアップすることで、「手</p>	市長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>「話は言語である」という認識を広める活動が行われていて、埼玉県では32の自治体で実施しています。本市でもブルーライトアップの取組に参加してはいかがでしょうか。</p> <p>2 「産後ケア事業」について 現在実施している訪問型に加えて、ショートステイ型（宿泊型）、デイサービス型（日帰り型）の産後ケアを実施してはいかがでしょうか。</p> <p>3 新座市営墓園の長寿命化工事、修繕について 新座市営墓園のB斎場の入口屋根の雨漏り、屋根ガラスのひび割れ、外壁の黒ずみについて修繕が必要だと考えます。築年数が40年になる新座市営墓園ですが、公共施設個別施設計画では令和10年から14年に長寿命化改修、令和25年から29年に中間改修を実施とされています。葬儀は人生最後の行事であり、他地域からも多くの方々が参列します。もう少し前倒して実施してはいかがでしょうか。</p> <p>4 歩道拡幅及び自転車ナビマークの設置について 市道第9号線（市場坂通り）の福祉の里や新座市営墓園前の歩道が狭く、車いすやベビーカーのすれ違いが困難です。植栽を狭めて歩道を拡幅してはいかがでしょうか。また、車道に自転車の走行路を表す自転車ナビマークを設置してはいかがでしょうか。</p> <p>5 災害・停電時対策用街路灯や太陽光発電式パネル付街路灯の設置について (1) 新座駅の災害・停電時対策について 停電時でも消えない災害・停電時対策用街路灯が志木駅南口に8基設置されています。新座駅にも設置してはいかがでしょうか。 (2) 安全対策について 主要地方道保谷・志木線の大橋付近の黒目川沿いの桜並木の歩道には街灯がなく、夜になると真っ暗で危険です。電源が確保できない暗くて危険な場所に太陽光発電式パネル付LED街路灯を設置してはいかがでしょうか。</p> <p>6 地域や市民イベントの日程調整について 地域や市民のイベントの日が重複していることがあります。日程が重複しないよう、できる限り事前に日程調</p>	市長
		市長及び 教育長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>整を行ってはいかがでしょうか。</p> <p>7 暑さ対策について</p> <p>猛暑対策として、中学生の制服にポロシャツやハーフパンツを導入してはいかがでしょうか。</p>	教育長
11 山口 歩	<p>1 小・中学校施設について</p> <p>(1) スポーツ設備の更新と財源確保について</p> <p>今後、各競技におけるルール改定や安全基準の見直しを本市としてどのように捉えているか。また、それによる学校スポーツ設備への影響や必要となる更新規模の把握、財源確保について、市の見解を伺う。</p> <p>(2) 衛生管理について</p> <p>体育館施設において害虫の発生が増加しているとの声が寄せられた。適切な時期に現地調査を行い、状況に応じて害虫駆除や対策を講じる必要があると考えるが、市の見解を伺う。併せて、避難所運営の観点からも、感染症流行時など換気が必要となる場面での蚊・蜂等の害虫侵入防止策として有効な、網戸や簡易防虫ネットの整備状況及び今後の整備方針について伺う。</p> <p>2 カスタマーハラスメントについて</p> <p>(1) 職員へのカスタマーハラスメントの実態把握について</p> <p>市職員に対する暴言・威圧行為・過度な要求など、いわゆるカスハラの発生状況や、職員が受ける負担や拘束時間、精神的影響に対する本市の状況把握について伺う。併せて、対応した職員の声をどのように収集し、どのように対応改善に反映しているのかを伺う。</p> <p>(2) 新座市カスタマーハラスメント防止指針の策定について</p> <p>本市では職員を不当な要求から守るため、「不当要求行為等対策要綱」を定めている。しかし、不当要求と、日常の窓口で発生する暴言・威圧的態度・長時間の拘束、更には写真・動画の執拗な撮影やSNSへの投稿といった、いわゆるカスハラ行為とは対象や性質が必ずしも一致するとは限らない。</p> <p>こうした日常的なカスハラに対し、市として明確な姿勢を示し、組織として一貫した対応方針を持つことが必要であると考える。</p> <p>その方策の一つとして、カスタマーハラスメント防</p>	市長及び 教育長 市長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	止指針を新たに策定することについて、市の見解を伺う。	
12 谷地田庸子	<p>1 健康づくりにおける適切な睡眠の啓発について</p> <p>(1) 健康増進のため、睡眠の重要性の普及・啓発について</p> <p>国は、健康日本21（第三次）を開始し、休養・睡眠分野の取組を推進するため、「健康づくりのための睡眠ガイド2023」を策定しました。その中で日常的に質（睡眠休養感）と量（睡眠時間）ともに十分な睡眠を確保するため、「成人」「こども」「高齢者」と年代別に推奨する事項が示されました。市民が睡眠の重要性を理解し、正しい睡眠へ行動変容する取組が重要と考えます。健康づくりにおける適切な睡眠について、市の見解を伺います。</p> <p>(2) 睡眠教育の推進について</p> <p>近年、子どもたちの睡眠時間は減少傾向にあり、睡眠の正しい知識と習慣を身に付ける睡眠教育は重要と考えます。学校における睡眠教育について、どのように取り組まれているのか伺います。</p> <p>2 「新座市民の歌」の普及について</p> <p>「新座市民の歌」は、昭和54年6月1日に作成され、以来46年の年月が経っておりますが、市民全体にはまだまだ浸透していないというのが現状ではないでしょうか。市制施行55周年を機に学校行事で齊唱の機会を設けたり、始業前に校内で流したり、市役所の電話の保留音などに使用して歌を聞く機会を増やすことも効果的ではないでしょうか。「新座市民の歌」の普及について、市の見解を伺います。</p> <p>3 学校図書館の更なる充実について</p> <p>(1) 校内の移動図書館について</p> <p>校内の図書館から遠い学級に対して、おすすめの本や人気の高い本を可動式のカートに載せて学級の近くまで運び、貸出しや返却をするといった移動図書館の取組をされている学校について、新聞の投稿記事がありました。市内小・中学校では、児童・生徒が本に親しめるように様々な取組が実施されていますが、このような移動図書館を学校図書館の取組として実施してみてはいかがでしょうか。市の見解を伺います。</p>	市長及び 教育長
		市長及び 教育長
		教育長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>(2) 学校図書館でのリユース本の活用について 学校図書館ボランティアの方からご相談を頂きました。子どもたちに人気のある本は、傷みが激しく、修復しての活用を繰り返すことが多いので、そのような本が現在、自宅で不要となっていればリユース本として学校で活用できないかというご要望でした。学校図書館でのリユース本の活用について、市の見解を伺います。</p> <p>(3) 新聞についての価値の見直しと学校図書館への配備及び活用状況について 読解力の向上や情報活用能力の育成のために新聞の活用は重要と考えます。文部科学省で策定した「第6次 学校図書館図書整備等5か年計画」には、全ての学校図書館への新聞の複数紙配備が掲げられています。新聞についての価値、学校図書館への配備状況及び活用状況について伺います。</p> <p>4 若い世代の新たな発想を生かすまちづくりの更なる充実について 本市では、未来を担う子どもたちの意見を市政に反映するとともに、市政に対する子どもたちの理解と関心を深めることを目的として、小・中学生議会や市長との懇談会などが実施されています。また、市内3大学と連携し、公開講座の実施や地域活性化のための様々な取組を実施されています。北九州市では全国初の乙世代（10代から20代）課を設置されました。本市でも、更なる充実のため、乙世代活躍係などを設置し、若い世代の声を行政に反映させ、挑戦できるプロジェクトを実施してはいかがでしょうか。市の見解を伺います。</p> <p>5 帯状疱疹の予防接種について</p> <p>(1) 予防接種の情報提供について 帯状疱疹に対するワクチンの効果については、生ワクチン、組換えワクチンとともに予防効果が認められています。接種は個人の判断に委ねますが、市民への情報提供及び予防啓発は重要と考えます。予防接種の情報提供について、市の見解を伺います。</p> <p>(2) 予防接種の助成について 帯状疱疹の発症及び重症化予防を目的とした予防接種は、予防医療の一次予防となります。帯状疱疹の重</p>	市長及び教育長
		市長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>症化予防、合併症予防など予防医療の観点、そして任意接種者の負担軽減になることから、独自の助成制度を実施している自治体もあります。予防接種の助成について、市の見解を伺います。</p> <p>6 安全な道路環境維持のための点検・補修と予算の増額について</p> <p>市民の安全・安心のくらしのため、道路環境維持は重要な事業と考えます。市民要望も多い事業であると捉え、公明党新座市議団は、令和8年度予算要望重点施策でも「安全な道路環境維持のための点検・補修」を要望しました。令和8年度の予算について、市の見解を伺います。</p>	市長
13 笠原 進	<p>1 2026年度の主な補助事業について</p> <p>2026年度の国及び県の補助を受けての主な事業をどのように考えていますか。</p> <p>(資料要求：国庫補助を申請している事業、事業額及び補助額)</p> <p>2 図書購入費の増額について</p> <p>近年の図書館の図書購入費は以前と比べ減少しています。増額すべきではありませんか。</p> <p>3 難病患者見舞金の支給について</p> <p>財政非常事態宣言の中で、難病患者見舞金が廃止されたままとなっています。廃止・削減された事業の多くが復活しました。難病患者見舞金を復活し、支給すべきではありませんか。</p> <p>(資料要求：県内自治体の難病患者見舞金等の支給状況)</p> <p>4 生活道路の整備について</p> <p>横断歩道、一時停止などの道路標示がよく見えない状態の箇所が多くあります。また、ひび割れ、凸凹などを修繕していない箇所も見られます。道路関係予算を増やし、生活道路の整備を急ぐべきではありませんか。</p> <p>5 予算編成の方法について</p> <p>当初予算に多額の財政調整基金を取り崩して充てる方法を改め、地方消費税交付金、地方交付税及び繰越金をしっかり予算計上して、当初予算を編成すべきではありませんか。</p>	市長 教育長 市長 市長 市長
14 小野 大輔	1 公共施設への生理用品常備について	市長及び

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>(1) 市役所等のトイレへの常備について</p> <p>全国の自治体では、市役所や公共施設のトイレに生理用品を常備する取組が広がっています。生理用品は、女性にとって日常生活に欠かせない必需品であり、急な生理や持参忘れなど、誰にでも起こり得る事態に対応できる環境整備が求められます。新座市でも、市民や職員が安心して利用できるよう、市役所本庁舎をはじめ、公共施設のトイレに生理用品を常備する取組を進めるべきではないでしょうか。</p> <p>(2) 小・中学校のトイレへの常備について</p> <p>生理用品を小・中学校のトイレに常備する取組が全国で広がっています。新座市でも市民から「学校のトイレに生理用品の常備を求める陳情書」が提出され、賛成多数で採択されました。隣接する朝霞市をはじめ、他自治体では既にトイレへの常備が実現しています。生理の貧困やジェンダー平等の観点からも、誰もが安心して過ごせる学校環境の整備が求められます。市でもトイレへの常備を早急に実施する考えがあるか伺います。</p> <p>2 補聴器購入補助制度の創設及び聴力検査の実施について</p> <p>(1) 補聴器購入補助制度の創設について</p> <p>県内23自治体で、補聴器購入費の一部を助成する制度を設ける動きが広がっています。市民を支援するため、補聴器購入補助制度の創設を検討する考えがあるか伺います。</p> <p>(2) 聴力検査の実施について</p> <p>特定健診や後期高齢者健診では、聴力検査は任意項目とされていますが、多くの自治体では実施されていません。市が費用の一部を補助することで、より多くの高齢者が気軽に検査を受けられるようにすることは、健康寿命を延ばす上でも大きな意義があります。健診時に聴力検査を実施し、その費用の一部を市が補助する制度を検討すべきと考えますが、見解を伺います。</p> <p>3 新座市と隣接する所沢市の井戸でPFA/Sが検出されたことについて</p> <p>(1) 汚染状況について</p>	教育長
		市長
		市長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>所沢市的一般廃棄物最終処分場の敷地内の井戸からP F A Sが検出されました。所沢市は、周辺500メートルの井戸を調査し、井戸水を飲まないように注意喚起をしたと報道されました。汚染の原因、汚染の範囲、市内の井戸への影響など、状況はどのようになっていますか。</p> <p>(2) 市内への影響について</p> <p>新座市新座地域の水道水は、一部、地下水を汲み上げて利用しています。市民が飲料水として利用する地下水への影響はどのようになっていますか。</p> <p>4 擁壁崩壊の危険性のある地域の対応について</p> <p>(1) 市内の状況について</p> <p>杉並区では、57年前に整備された高さ5メートルの擁壁が崩壊し、木造家屋が全壊しました。市内でも、古い擁壁が存在します。近隣住民から不安の声が上がっている地域もあります。市内の状況はどのようになっていますか。</p> <p>(2) 対策について</p> <p>杉並区では擁壁の緊急点検を行い、啓発をしています。さらに、「がけ・擁壁改善資金融資」をあっせんしています。この融資は、「がけ・擁壁」の倒・崩壊等防止の改善工事を行うために資金が必要な方に、区が契約した金融機関へ融資をあっせんします。融資を受けた場合、区が利子を金融機関へ支払います。市でも実施してはどうでしょうか。</p> <p>5 道路問題について</p> <p>(1) はなみずき通りの改善について</p> <p>第二新座幼稚園前、新座小学校こぶし門前の水たまりの解消をお願いします。はなみずき通りの側溝が老朽化して波打っています。雨水が滞留し水たまりができてしまっています。自転車が通行する際なども危険です。改善を図ってください。新座住宅側歩道の雑草についても、定期的な除草を実施してください。横断歩道の前後に低木が生え、見通しが悪くなっています。改善を図ってください。</p> <p>(2) 柳瀬川遊歩道の改善について</p> <p>遊歩道は、志木大橋からふれあい橋までの区間が、ひび割れし、路面標示が消えています。ひび割れを改</p>	市長
		市長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>善して、「歩行者優先」などの路面標示を塗り直してください。</p> <p>(3) 市道第1171号線の老朽化対策について</p> <p>市道第1171号線は、抜け道になっており、車両が多く通過します。そのため、路面が劣化し、ひび割れや水たまりなどができています。道路を全面的に舗装し直す等の改善を図ってください。</p>	
15 田口 訓子	<p>1 手話言語条例及び情報コミュニケーション条例について</p> <p>(1) 手話言語条例について</p> <p>現時点での進捗状況、庁内の検討体制、スケジュール等について伺います。</p> <p>(2) 手話に関する施策の推進に関する法律（手話施策推進法）と障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する法律（障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法）に関する市の認識について</p> <p>手話施策推進法は、手話を言語として尊重し、その使用を推進することを目的とし、言語権の保障を中心とした法律である一方、障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法は、手話を含む幅広い情報取得・意思疎通手段を対象とし、障がい者の情報アクセスの保障を目的としているなど、両法は目的や対象領域が明確に異なっています。本市として、これら二つの法律の違いをどのように整理し、手話施策と情報アクセシビリティ施策のそれぞれを施策体系上でどのように位置付けているのか、市の認識を伺います。</p> <p>(3) 手話言語条例と情報コミュニケーション条例の検討の方向性について</p> <p>両条例について、必要性、目的の違い、担う役割、対象施策の範囲など、整理すべき論点をどのように認識しているのか伺います。また、現時点で想定している検討の方向性について伺います。</p> <p>2 小・中学校における携帯電話等の取扱いとリテラシー教育の在り方について</p> <p>(1) 新座市立小・中学校における携帯電話等の取扱いに関するガイドラインの教育的整合性について</p>	市長 教育長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>本市はＩＣＴ教育を積極的に推進している一方で、携帯電話等については、「教育活動に直接必要のない物」として学校への持込みを原則禁止としています。</p> <p>児童・生徒の生活実態や情報活用能力の育成という教育的視点から、現行ガイドラインが本市のＩＣＴ教育の方向性とどのように整合しているのか伺います。</p> <p>(2) 主体的なルール形成の教育的意義について</p> <p>他自治体では、児童・生徒と教職員が対話し、携帯電話等の利用ルールを自ら考え、合意形成し、運用する取組が実践されています。</p> <p>本市として、児童・生徒が主体的にルール形成に参加することの教育的意義をどのように認識しているのか伺います。</p> <p>(3) ガイドライン見直しの考え方と各学校に応じた取組の改善について</p> <p>現行ガイドラインは防犯・災害対応以外で携帯電話等の持込みを認めず、教育的活用や主体的学びの視点を想定していません。</p> <p>児童・生徒の生活実態やリテラシー教育の必要性に加え、各学校の実情に応じた取組の改善の可能性も踏まえ、ガイドラインの見直しについて本市の考え方を伺います。</p>	
16 佐藤 重忠	<p>1 一般廃棄物処理業務における委託料の適正化について</p> <p>(1) 環境省及び総務省から発出された指針への対応について</p> <p>昨年9月30日付けで環境省及び総務省から「一般廃棄物処理業務における『労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針』等を踏まえた対応について」が発出されました。内容として、各自治体に対して、委託料に労務費、原材料費、エネルギーコスト等の適切な転嫁の実施に努めることや、市町村は事業者が積算した委託料を尊重するとともに、満額受け入れられない場合はその根拠や合理的理由を説明することが求められるとされています。また、これを受けて埼玉県は、昨年10月9日付けで同様の趣旨の通知を発出するとともに、12月23日には全ての市町村並びに一部事務組合に向けて研修会を開催しました。新座市はこの通知内容をどのように受け止めているのか、</p>	市長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>また今後の委託契約についてどのような検討を行ったのか伺います。</p> <p>(2) 一般廃棄物処理事業者からの要望と対応について 新座市的一般廃棄物処理事業者の皆さまから、社員の処遇改善や新規採用に関して、現状はとても厳しいものであり、業務の継続に問題を抱えているとお伺いしています。市としてどのようなご要望を受け、どのように対応しているのか伺います。</p> <p>2 自転車用ヘルメット購入費補助の再実施について 9月9日に受付を終了した自転車用ヘルメット購入費用の一部補助について、直ちに補正予算を編成して事業を再実施するとともに、令和8年度も引き続き実施してはいかがでしょうか。</p> <p>3 新座市高齢者見守りステッカー配布事業のリニューアルについて 京都市が導入した「みまもりあいアプリ」は、専用のスマホアプリとステッカーを利用して、家族が発信した検索依頼をアプリをダウンロードしている方が共有できるとともに、発見者がステッカーに記載されたフリーダイヤルとID番号を利用して家族と直接電話で会話ができるものです。新座市でも導入を検討してはいかがでしょうか。また、この事業はできるだけ多くの近隣自治体と同じシステムを共有すべきものと考えます。そのような調整がなされているのか伺います。</p> <p>4 登校に不安を抱える子どもの保護者の交流カフェについて 「学校に行けない」「教室に入れない」「授業や行事に参加できない」といった児童・生徒の保護者が、お互いの悩みや体験などを共有できる交流カフェを、市として複数箇所で実施してはいかがでしょうか。</p> <p>5 空き家対策としての家財道具一括回収事業の実施について 空き家の所有者や遺品整理の希望者を対象に、リユース可能なものの買取と廃棄となるものの処分を一括して行うことで手続の簡素化と費用の抑制ができる事業を実施してはいかがでしょうか。</p> <p>6 倒木対策について 11月13日頃に、本多緑道において大きな木が倒</p>	市長
		市長
		教育長
		市長
		市長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>れ、緑道の通行ができなくなるとともに、近くの照明灯が不点灯になりました。また、10月27日には、片山第二緑地でも倒木による被害が発生しています。幸いにしてどちらのケースも怪我人等はありませんでしたが、もしその場に居合わせたら最悪の事態すら予想されます。直ちに市が管理する雑木林等の緊急点検を実施するとともに、専門家の協力を得て点検マニュアルの作成と運用を図ってはいかがでしょうか。併せて、民間が所有する雑木林等にも同様の点検を実施するよう注意喚起を行ってはいかがでしょうか。</p>	
17 小野由美子	<p>1 市内介護事業所への支援について 令和7年11月から、埼玉県の最低賃金が引き上げられました。そのことは喜ばしいことですが、小規模介護事業者の中には賃金アップした部分を自己負担している事業者がいます。それは、次の報酬改定まで続きます。物価高の中、ほかの部分の費用負担でも介護事業者は大変な思いをされています。市内の介護事業所への支援を、新座市独自で行うことはできないでしょうか。</p> <p>2 生ごみのリサイクルについて 狹山市では、専用のポリバケツを使い、生ごみのリサイクル事業を行っています。コンポストとは違い、専用のポリバケツ一つでできるので、自宅の場所が狭くなることがありません。この事業は、家庭の生ごみを堆肥や飼料にする事業です。この事業で処理をした物は、肥料・飼料メーカーで原材料の一部として利用され、製品化されます。そして、一部は市内のイベントで試供品として提供され、事業参加者にも提供されるそうです。新座市でもこのリサイクル事業を行ってはいかがでしょうか。</p> <p>3 日傘の貸出し事業について 埼玉県では、暑さ対策として日傘の普及に努めています。現在、大宮駅と浦和駅、県庁の3か所で実施しています。取扱場所は、順次拡大していくそうです。新座市でもこの事業を取り入れてはいかがでしょうか。</p> <p>4 市内のじゃぶじゃぶ池の開始時期について 令和7年の夏は長く、とても暑い日が続きました。暑くなるのも早くなり、5月には夏日に迫る日が続きました。新座市にも子どもたちが楽しめるじゃぶじゃぶ池が</p>	<p>市長 市長 市長 市長</p>

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>あります。しかし、水が流れるのは7月からです。これからも毎年暑くなると言われています。じゃぶじゃぶ池の開始時期をゴールデンウィークから開始することはできないでしょうか。</p> <p>5 コサギのフン害について 午後6時ごろ、新座大橋で電線にたくさんのコサギがとまっている姿を見ました。以前から、この交差点の1か所だけが汚れています。これはコサギのふんが原因です。通学・通勤の方も自転車で通り、利用者が多い交差点です。何か対策が取れないでしょうか。</p>	市長
18 石島 陽子	<p>1 地域公共交通計画について 今後のスケジュールはどのようになるのでしょうか。路線バス運賃といいバス運賃の格差改善の取組を行うとのことですですが、利用者の負担増は避けるべきだと考えます。どのように考えているのでしょうか。にいバスの充実やデマンドタクシーの導入が必要と考えます。どのように考えているのでしょうか。</p> <p>2 就学援助の充実について 就学援助の費目に、クラブ活動費、卒業アルバム代、生徒会費、自転車用ヘルメット購入費を追加する考えはないでしょうか。</p> <p>3 道路の改修について 通学路でもある市道第118号線の栗原三・四丁目付近の舗装の傷みが目立ちます。改修すべきです。</p> <p>4 新座市営墓園の利便性について 新座市営墓園をバスやタクシーで訪れた方が、広い墓園内を自転車で回れるように、置き自転車又はシェアサイクルを設置してほしいという要望が寄せられました。設置できないでしょうか。</p> <p>5 放課後児童保育室へのWi-Fi設置について 放課後児童保育室にはWi-Fiが設置されていないため、子どもたちがタブレットを使った宿題ができません。校舎内にある放課後児童保育室では利用可能なので、差がある状況にもなっているということです。早急にWi-Fiを設置すべきではないでしょうか。</p> <p>6 公園のトイレについて 野寺公園のトイレなど古いタイプのトイレは、鍵がいたずらされていたり、また汚れが気になり、利用しづら</p>	市長 教育長 市長 市長 市長 市長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	いという声が寄せられています。トイレを新設できないでしょうか。また、それまでの間、清掃の回数を増やすことはできないでしょうか。	
19 黒田 実樹	<p>1 水道事業について</p> <p>(1) 生活保護世帯、ひとり親世帯等への水道料金の減免について</p> <p>経済的な理由で料金の支払いが困難な世帯を支援するために、水道料金の減免制度を実施することについて、市の見解を伺います。</p> <p>(2) 濁り水の改善について</p> <p>野火止浄水場から給水されている複数の世帯の方から、濁った水が出てくるとの相談が寄せられています。西堀、片山の両浄水場と同様に、ろ過装置を設置すること等の対策について、市の見解を伺います。</p> <p>2 野火止ふれあい公園の東屋及びベンチの移設について</p> <p>公園を利用する市民から、東屋及びベンチが手前の防災倉庫で隠れて死角になり、特に夕方、夜の利用は不安などの声が寄せられています。また、騒音への配慮としても東屋及びベンチを道路側に移設していただけないですか。</p> <p>3 市役所導線の路面標示について</p> <p>にいバスのバス停が新座市民会館に設置され、市役所へ行くために図書館脇の通路や市民会館を通り抜ける方から、路面の標示を大きくしてほしい、市役所側から市民会館へ通り抜けられる標示を付けてほしいとの要望が寄せられていますが、市の見解を伺います。</p> <p>4 新座市教育DX推進について</p> <p>(1) 教育データ利活用について</p> <p>新座市DX推進計画アクションプランでは、種々の教育データを集積し分析し多面における有機的な利活用を図るとされていますが、児童・生徒のどのような教育データを集め利活用されているのですか。</p> <p>(資料要求：校務システムファイルに係る個人情報ファイル簿)</p> <p>(2) 個別最適な学びと協働的な学びについて</p> <p>デジタル技術を活用することで、一人ひとりの個性や置かれている状況に最適な学びを可能にしていく「個別最適な学び」「協働的学び」をどのように具体化していくのですか。教育の在り方を大きく変える政</p>	市長 市長 市長及び教育長 教育長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	策ですが、懸念されていることはありますか。	
20 川村よし ひさ	<p>1 大規模震災への備えと学校支援体制について 児童・生徒の在校中に大規模震災が発生したケースを想定し質問します。</p> <p>(1) 市と学校間の連絡体制及び定期訓練について 大規模震災で電話がつながらなくなったり場合の連絡体制は、どのようになっていますか。また、市職員や教職員は定期的に人事異動があるため、有事に必要な行動を確実にとるには、繰り返し訓練することが重要だと考えます。市でどのように取り組んでいるか伺います。</p> <p>(2) 保護者と学校間の連絡体制及び定期訓練について 本市は都心へ通勤する保護者が多く、東日本大震災の時のように帰宅困難者が発生した場合、児童・生徒を長時間、場合によっては日をまたいで学校に留め置く可能性があります。電話に頼らずに保護者と学校が連絡を取り合える仕組みを整え、定期的に訓練する必要があると思いますが、市の考えを伺います。</p> <p>(3) 教職員による避難所運営の協力について 市内全ての小・中学校は、避難者を受け入れることになっています。文部科学省が平成29年1月20日付で出した通知では、本来は市の防災担当部署等が行う避難所の開設と運営について、過去の大規模災害の経験から、教職員が運営に協力できる体制整備について具体的に示しています。本市での取組状況や課題について、市の考えを伺います。</p> <p>(4) 有事に備えるための教職員の支援体制について 現在、学校の教職員は業務改善の時間確保が難しい環境にあると感じています。対応の難しい児童・生徒の増加や、家庭に問題を抱える保護者の対応なども影響しているかもしれません。最も大きな影響は、教職員不足の中で急いで進められている働き方改革です。文部科学省は労働基準法で定める「時間外労働は月45時間以内」より厳しい、時間外在校時間を月平均30時間以内にする目標を掲げています。こうした中で有事に備える重要性は理解していても、緊急性の低い業務として意識が薄れてしまうと考えます。学校だけに任せるのではなく、市として支援体制を整える</p>	市長及び 教育長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>ことが必要だと思いますが、市の考えを伺います。</p> <p>2 志木駅における鳩の扇の恒久的な対策について</p> <p>これまで他の議員の一般質問に対し、市にはその都度迅速に対応していただきました。しかし、志木駅の屋根は形状の関係で鳩が巣を作れる場所が無数にあり、少なくともここ1年半は複数箇所で巣を確認しています。令和7年8月下旬頃からは、志木駅南口で最も通行量の多い場所の屋根にも巣が作られて、すぐに忌避剤による対策が実施されましたが、効果がない状況です。費用はかかりますが、鳩が止まる場所を物理的に制限する屋根への恒久的な対策が必要だと思います。市の考えを伺います。</p> <p>3 新座駅における歩行者の安全対策について</p> <p>(1) 暫定的な対策について</p> <p>南北通路の一時的な封鎖によりJR新座駅構内の自転車の通行量が増加しています。朝の通勤・通学混雑時は、利用者のほぼ全員が手押しで通行していますが、ごく少数の自転車通行者が、死角の多い場所でスピードを落とさず通行する大変危険な状況を何度も目にしています。JR駅構内であり、市で直接対策できるものではありませんが、市民の安全のため対策が必要な状況だと思います。市の考えを伺います。</p> <p>(2) 恒常的な対策について</p> <p>南北通路が開放され、新座駅北口ロータリー拡張工事が終了した後の駅周辺の歩行者安全対策について伺います。特に通勤・通学の自転車の流れはどのように変化すると想定されていますか。市の考えを伺います。</p> <p>4 部活動地域展開の進め方について</p> <p>令和8年度の地域クラブ活動一覧が公開されました。令和8年度は休日のみで、平日の部活動は継続されており、生徒への大きな影響はないと考えています。ただ、令和7年5月にスポーツ庁と文化庁の有識者会議から部活動改革の最終とりまとめが公表されており、休日については令和13年度までに全ての学校で地域展開を目指す一方で、平日については地域実情に応じた改革を推進する内容となっています。このことから、教育委員会の判断により全国の自治体で差が生まれると考えます。平</p>	市長
		市長
		教育長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>日も地域展開した場合に、その進め方によっては懸念を持つ立場で質問します。</p> <p>(1) 学校側で部活動存続の意志があったときの対応について</p> <p>生徒や保護者、または顧問によって、特定の部活動を存続する要望があったときは、どのように対応していきますか。市の考えを伺います。</p> <p>(2) 指導者の確保について</p> <p>部活動の地域展開を検討するまでは、部員が減って廃部になるケースは避けられなかったわけですが、今後は存続できるケースも想定されます。そういう理由で、地域クラブによる学校間の統合が進むのは生徒にとってプラスだと考えますが、指導者不足や教職員の働き方改革が先行して、通学する中学校から選択肢が減ることは避けるべきだと思います。指導者の確保について、市の考え及び現状の取組を伺います。</p> <p>(3) 生徒へのアンケートによる地域クラブ展開の判断について</p> <p>平日も地域クラブへ展開し、通学する中学校での活動廃止が見込まれる場合は、決定前に該当する中学校の生徒を対象にアンケートを取るのはいかがでしょうか。別の中学校へ移動してまで活動するなら退部する生徒数と、地域クラブで新たな選択肢が増え、今までと違う種目に参加する生徒数について確認し、活動へ参加する生徒数や活動日数が概ね変わらないなら、全体では大きな問題ないと捉えて展開します。その時に、活動に参加する人数や活動日数が大きく減る見込みが分かったら、一度保留して、違う選択肢も検討すべきだと思いますが、市の考えを伺います。</p>	
21 白井 忠雄	<p>1 都市高速鉄道12号線の延伸促進について</p> <p>光が丘駅から（仮称）大泉学園町駅までの区間が事業化する方向となりました。これを受けて、本市では今後どのような取組により延伸を実現させる考えですか。また、市民・事業者・学校など市を挙げて更に機運醸成を図るべきではないですか。</p> <p>2 マイナンバーカードの活用拡大について</p> <p>マイナンバーカードは、健康保険証、自動車運転免許証との一体化、また全国の自治体では、出生届、避難所</p>	<p>市長及び 教育長</p> <p>市長及び 教育長</p>

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>の入退所管理、被災者支援金の申請、施設の入館証、図書館利用者カードなど様々な活用が拡がっています。本市でも活用策を検討すべきではないですか。</p> <p>3 雨水浸水対策の早期実施について 豪雨被害の解消のため、令和8年度から雨水貯留施設等の設置に向けた取組を進めていますが、進捗状況はどうなっていますか。併せて、応急的な取組を進めるべきですが、どうなっていますか。情報提供をしながら地域住民が安心できるよう取り組むべきではないですか。</p> <p>4 柳瀬川の水位上昇防止対策について (1) 河川監視カメラ設置について 柳瀬川流域の本市に架かる橋梁に河川監視カメラを設置し、動画によるリアルな水位情報が地域住民に提供されるよう、設置を県に要望すべきではないですか。 (2) 河道掘削の実施について 柳瀬川の水位上昇を抑えることで外水氾濫、また中野川・坂之下川合流点の内水氾濫を防ぐ効果が高まります。方策として、柳瀬川流域の本市付近の河道掘削工事の実施を県に要望すべきではないですか。</p> <p>5擁壁の崩壊対策について 杉並区で擁壁が崩れて建物が全壊し、接道する区有道路をふさぐ事故が発生しました。本市にも老朽化した擁壁が確認できます。市として擁壁の崩壊防止の対策を検討すべきではないですか。</p> <p>6 前立腺がん検診の実施について 男性がかかるがんで最も多い前立腺がんの早期発見・早期治療を促すため、前立腺がん検診に助成すべきではないですか。</p> <p>7 中学校部活動の地域展開の進捗状況について 令和8年度からの部活動の本格的な地域展開の実施に向けて、様々な課題の解決、ガイドラインの作成など進捗状況はどうなっていますか。生徒・保護者に寄り添った取組を進めていくべきではないですか。</p>	市長及び 教育長 市長 市長 市長 市長及び 教育長
22 高邑 朋矢	1 放課後児童保育室について 市内放課後児童保育室の支援員の待遇について市はどう考えていますか。近隣市と比べて待遇が悪いのであれば改善すべきです。今のまでは優秀な支援員も他市へ	市長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>移動し、新座市の放課後児童保育室の質が下がってしまいます。シティプロモーションの観点からも早急に対応すべきです。</p> <p>2 ワクチンについて 新型コロナワクチンや子宮頸がんワクチンによる被害の大きさが段々分かってきましたが、テレビでは相変わらずワクチンのコマーシャルが流れています。市民の今後のワクチン副反応被害を防ぐためにも、市として、今までのワクチン接種の実態調査や副反応の実態調査を実施し、市としてしっかりとデータを残すことを提案します。</p> <p>3 公民館・コミュニティセンターでの飲食について 市内公民館・コミュニティセンターでは、様々な団体が活動しています。しかし、公民館・コミュニティセンターで飲食ができないのは時代に合いません。各公民館・コミュニティセンターに最低1か所は飲食できるスペースを作るべきです。市の考えを伺います。</p> <p>4 新座市障がい者基本条例とコミュニケーション条例について 新座市には「共に暮らすための障がい者基本条例」がありますが、「コミュニケーション条例」を制定してほしいという声が彼方此方から上がっています。市議会でも何度も取り上げられました。これは、「共に暮らすための障がい者基本条例」には欠陥があるか又は実効性がないことを意味しているのではないでしょうか。市民の声に耳を傾け、「コミュニケーション条例」を新たに制定するか、「共に暮らすための障がい者基本条例」をしっかりと意味あるものに変更していくかのどちらかではないでしょうか。また、手話言語条例と障がい者情報コミュニケーション条例の二つの条例は、障がい者の情報取得やコミュニケーションにおける様々な問題を改善するという共通の大きな目的があります。この二つの条例は別々に作るのではなく、一体化した条例とすることにより、様々な障がい者が抱える問題に対し、総合的に問題の解決を図ることがより効果的にできると考えます。市の見解を伺います。</p> <p>5 キャッチボールができる公園について 先日の小・中学生議会でも「ボール遊びができる公</p>	市長
		教育長
		市長
		市長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>園」が話題になりました。子どもたちも、子育て中の親も、子どもたちが安全にボール遊びができる身近な公園を望んでいるのです。お年寄りがゲートボールを楽しめる公園で子どもたちがキャッチボールもできない。「子育て応援都市にいざ」でそんな理不尽なことが許されないわけがありません。せめて、キャッチボールができる公園から増やしていきませんか。間違いないく、シティプロモーションの観点からプラスになると思います。市の考えを伺います。</p> <p>6 テニスコートについて</p> <p>近隣市を見ても、人工芝のテニスコートがないのは新座市だけです。これは、シティプロモーションの観点から非常にマイナスです。テニスは何歳になってもできる生涯スポーツです。人工芝であれば、雨の後でもすぐにプレーができます。市民の健康推進のためにテニスコートを人工芝にすべきです。市の考えを伺います。</p> <p>7 小・中学生議会について</p> <p>先日、小・中学生議会を傍聴しました。子どもたちのユニークな発想と発表の方法に感心しました。その一方で、執行部の席がガラガラで、本物の議会とは程遠いと感じました。せっかくの「小・中学生議会」なのに、なぜ本物と同じ体験をさせないのでしょう。市長と教育長しか答弁しないのであれば、質問の内容も限られてしまいます。子どもたちの質問がシティプロモーションのヒントになることもあるでしょう。子どもたちの考える幅を広げ、何よりホンモノに触れてもらうことが大事だと思います。市及び市教育委員会の考えを伺います。</p> <p>8 夏休みの学校図書室利用について</p> <p>今年も暑い夏でした。来年もきっと暑い夏になるでしょう。子どもたちにとっても市民にとってもエアコンのある場所で本と親しみ、勉強できる場所が増えることは重要なことです。シティプロモーションの観点からも、子どもたちの学力向上の観点からも、市内小・中学校の図書室を夏休みに開放することを強く求めます。まずは数校から始めませんか。担当スタッフには、夏休みに仕事のないスクールサポートスタッフなどにお願いすれば安心です。市教育委員会の考えを伺います。</p> <p>9 学校のトイレに生理用品を常備することについて</p>	市長及び 教育長
		市長及び 教育長
		教 育 長
		教 育 長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>多くの議員がこの質問を行い、新座市議会に出された陳情も複数回あり、賛成多数で採択されました。しかし、実際には実現していません。教育長は養護教諭の考え方を主張し、教育的観点から保健室に常備することで対応したいと答弁しています。しかし、子どもたちの考えは違います。子どもの声を真正面から受け止め、小・中学校のトイレに生理用品を常備しませんか。市教育委員会の考えを伺います。</p> <p>10 部活動の地域展開について</p> <p>全国で部活動の地域展開が進んでいます。新座市の中学校ではどこまで進んでいますか。それぞれの部活が具体的にどの場所でどういう指導者の下で活動することになっていますか。新設の競技があればそれも含めて教えてください。</p> <p>11 市内小・中学校に通う外国籍の子どもについて</p> <p>市内小・中学校に通う外国籍の子どもたちが増加していると聞いています。その子たちへの特別な配慮はなされていますか。授業の支援体制はどうなっていますか。また、入管法の強制送還による親子分離が問題になっていますが、新座市ではそれに該当する児童・生徒はいませんか。</p> <p>(資料要求：市立小・中学校の外国籍の児童・生徒数)</p> <p>12 ブラック校則について</p> <p>市内中学校では生徒手帳には書いてない校則(きまり)も多くあるようです。市教育委員会はその実態をつかんでいますか。今の時代にそぐわないものもあります。校則は各学校に任せるのが原則でしょうが、市内の中学校を今の時代に合った自由な雰囲気にしていけば、シティプロモーションの観点からも新座市の中学校は自由で学習能力も高いと評判になり、子育て世代が多く流入してくるのではないでしょうか。市教育委員会の考えを伺います。</p> <p>13 不登校生徒の進路先について</p> <p>不登校児童・生徒が激増している今、不登校生徒の進路先は情報として残すべきです。県教育委員会でも「不登校生徒の進路先」というデータはないようですが、各学校では当然分かるはずです。各学校はもちろん、市としてもそういうデータを残すことが不登校生徒への不安</p>	教育長
		教育長
		教育長
		教育長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	解消につながると思います。市教育委員会の考えを伺います。	
23 鈴木 芳宗	<p>1 景観に優れた新座市の良好な都市環境と土地利用について</p> <p>新座市の今後の土地利用については、人口減少社会を見据え、将来の都市構造を再構築する視点が必要と考えます。策定中の立地適正化計画における都市の再整備の方向性や、緑地や公園や農地といった都市の良好な環境をどう維持していくか、それには都市高速鉄道12号線の延伸とスマートインターチェンジ設置の推進とともに、それが実現するまでの間も、良好な市街地と、市域の39%を占める市街化調整区域をどのように維持し、都市経営の持続性を高めるかが課題と考えますが、市の考えを伺います。</p> <p>(1) ヒューマンスケールに合わせた公園整備について</p> <p>立地適正化計画により居住誘導区域が設定されますが、魅力ある居住環境を整備するにはヒューマンスケールに合わせた公共空間が不可欠です。新座市の南北では都市整備の状況に差が生じています。今後は市全体の公園配置の再整理やヒューマンスケールに合わせた都市空間指針が必要と考えます。また、市内250か所余りの公園のリニューアルが検討される中、ポケットパークの在り方には検討が必要と考えます。他市では、開発行為時に金銭納付で代替する制度もあり、緑地率も本市の3%に対し、6%が一般的です。今後、公園の配置・面積の考え方について、ポケットパークの役割や統廃合について、開発行為における金銭納付制度の導入や緑地率の見直しなど、制度の設計について検討するべきと考えますが、市の考えを伺います。</p> <p>(2) 雜木林の維持管理サイクル構築と木材の活用について</p> <p>市には貴重な雑木林が多くありますが、樹木の高齢化や巨木化が進み、持続的な維持管理が課題となっています。伐採された木材は処分するだけでなく、薪やチップとして市内住宅の薪暖炉や温浴施設などの燃料に地域で活用することや、将来的には木質バイオマス発電の地域電力として利用することなど、循環型の管</p>	市長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>理体制や経済的循環が必要と考えますが、市の見解を伺います。</p> <p>(3) 都市近郊農業の発展について</p> <p>市では、都市農地の維持と魅力的な都市農業の活性化のため、様々な支援や補助をされていますが、今後の都市農業の多面的機能や農地の活用を考えると、支援や補助の在り方について検討し、健全な農地が維持されるよう国・県・関係機関とも連携し、地元後継者、担い手の確保を進め、魅力的な都市農業を育てていくべきと考えますが、市の考えを伺います。</p> <p>2 地域公共交通について</p> <p>新座市の南部・西部では、東京都側駅の利用を中心であるにもかかわらず、駐輪場の整備やバスの乗り入れ、タクシー営業圏域の分断など、県境を理由とした交通不便が生じています。</p> <p>また、公共交通空白地域も市の外縁の都県境周辺に多く、人口減少が進む中、複数自治体での公共交通の連携は、新座市の地形上、将来的には不可避であり、連携を行うことで、人口問題への対応と新座市の魅力向上につながると考えます。</p> <p>新座市は都県境に位置し、東京に半分食い込むまちであり、生活には11駅を使い分ける市であることから、県内はもとより、都内自治体との地域公共交通計画の共同策定について検討するべきと考えますが、市の考えを伺います。</p> <p>3 通学路の交通安全対策について</p> <p>現状の交通安全上の課題をどう把握し認識しているか、今後どのような計画や方針を考えているか、具体的な取組やスケジュール、関係者・関係機関との連携体制など、市の今後の考えについて伺います。</p>	市長
24 よねはし ゆうた	<p>1 県産木材の活用について</p> <p>埼玉県では、県産木材の利用促進を強力に推進しており、地産地消の推進、脱炭素化への貢献、さらには木育文化の醸成の観点からも、その意義は大きいと考える。本市においても、校舎や体育館、公共施設、スポーツ施設等の新設・改修においては、各種交付金や補助制度を的確に活用し、県産木材の積極的な利用を図るべきと考える。また、県産木材を用いた空間が、児童・生徒に対</p>	市長及び 教育長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>し、公教育上の効果や木のぬくもりを通じた情緒面への良い影響を与えるものと考えるが、教育部局の見解を伺う。</p> <p>さらに、本市として県産木材をどのように計画的に活用していくのか、その方針と今後の展開についても併せて伺う。</p> <p>2 先進技術の活用について</p> <p>近年、先進技術の発展は類を見ない速度で進んでおり、まちづくりの分野においても、その活用が広がりつつある。歩道や道路、上下水道管路等の整備に際して、デジタル上でシミュレーションを行う機器・ソフトウェア・システムを導入することは、効率性や安全性の向上に資するものと考える。また、災害時の状況把握や建築物の点検などにおいて、ドローン機器等の活用は有効であると考える。</p> <p>こうした最先端技術は、行政の各分野において幅広い活用が想定されるところであり、本市として積極的に導入を検討すべきと考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>さらに、ドローン等の先端技術機器は、ＳＴＥＭ教育の観点からも教育的意義があると考えるため、教育現場への導入について市の見解を伺う。</p> <p>3 災害に強いまちづくりについて</p> <p>大規模災害時には、浸水に伴い大量の汚泥が発生することが想定され、迅速な除去・処理体制の構築は地域防災において極めて重要である。本市として最悪の事態を想定した上で、汚泥処理の在り方について、砂場や公園の一部等を含め、具体的な仮置き場の候補を検討しておく必要があると考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>また、防災対策を実効性あるものとするためには、ドローンやシミュレーションソフト等を活用し、浸水・倒壊・避難ルートの可視化や、災害時オペレーションを事前に検証する取組が重要であると考える。こうした先端技術の防災分野への活用について、本市の考え方を伺う。</p> <p>さらに、災害時の指定避難所は小・中学校が中心となることから、汚泥処理や避難所運営に関する教育委員会との事前調整及び地域団体との役割分担を平時から緊密に行うことが不可欠である。当質問を契機に、避難所運営計画の更新を行うべきと考えるが、市の見解を併せて伺う。</p> <p>4 今後の地域公共交通について</p>	市長及び 教育長
		市長及び 教育長
		市長及び

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>今後的人口動態の変化、交通需要の多様化、財政制約、そして民間バス事業者の厳しい経営環境を踏まえれば、持続可能な地域公共交通を確保するためには、従来型の路線バスの増便を求めるだけでは限界がある。本市の地理、都市構造、住宅地配置、道路幅員、南北移動の弱さ等の特性に適合した複合的かつ柔軟な公共交通システムの検討が不可欠である。国内外における先進的な交通モード（幹線強化型のBRT、Maasによる乗り継ぎ最適化、AI配車によるオンデマンド交通、グリーンスローモビリティ、LRT、トラム型の低床交通、コミュニティサイクル、自動運転シャトル等）の動向を踏まえ、本市に導入し得る交通施策と今後の可能性、公的関与の在り方について市の見解を伺う。</p> <p>併せて、近年は先端技術を活用し、データや移動需要をシミュレーションしながら交通網の最適化を図る取組も進んでいる。本市においても、各種データ分析や研究成果を参考にしながら、地域特性に応じた検討を進めるべきと考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>さらに、未来の公共交通は次世代を担う子どもたちにとっても極めて身近なテーマであり、その視点や意見を反映する機会は重要である。教育部局とも連携し、子どもたちが公共交通の在り方について意見を共有したり、想像を広げたりするような学びや参画の場を設けることについても、併せて市の見解を伺う。</p>	教育長
5 命を守る取組について		市長及び教育長
(1) AED（自動体外式除細動器、以下「AED」という。）を活用した命を守る取組について	<p>AEDの設置場所を知らせるための取組を拡充してほしいとの声がある。これまで以上に目視できるステッカー等の取組を強化するべきと考えるが、市の見解を伺う。</p>	
(2) AED講習会の周知啓発について	<p>消防局主催の普通救命講習1及び3を幅広く周知すべきと考えるが、市の見解を伺う。</p>	
(3) AEDの管理状況について	<p>AEDの保守点検はどの程度の頻度で行われているのか伺う。</p>	
(4) CPR（心肺蘇生法、以下「CPR」という。）を		

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>活用した命を守る取組について どの程度の市民がCPRを実施できると市は把握しているでしょうか。市民が目の前で愛する人が倒れた際に少しでも助けられる可能性を広げることができるCPR技術を会得するための取組の現状と課題及び今後の取組について、市の見解を伺う。</p> <p>6 都市高速鉄道12号線の延伸について</p> <p>(1) オープンハウス型説明会の成果と今後の方向性について 都市高速鉄道12号線の延伸に向けて実施したオープンハウス型説明会の成果と課題、今後の方向性について、市の見解を伺う。</p> <p>(2) アンケートの結果と課題及び今後の取組について 都市高速鉄道12号線の延伸に関するアンケートの結果とその分析、見えてきた課題、今後の取組について、市の見解を伺う。</p> <p>(3) 機運醸成の現状と課題及び今後の進め方について 機運醸成の深度化を図る取組及び今後の進め方について、市の見解を伺う。 また、本市は「こどもまんなか社会」の実現を宣言していることからも、未来を描く主体として子どもたちと共に考える機会を設けるべきと考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>(4) 市民の理解と市の説明について これまでの延伸に向けた取組を通して見えてきた、市民の理解状況と必要な情報提供、今後の説明の在り方について、市の見解を伺う。</p> <p>(5) B/Cを1にする取組の状況と今後の方策について 延伸に必要な採算性の確保に向け、B/C（費用便益比）を1以上とするための取組状況と今後の方策について、市の見解を伺う。</p> <p>(6) 埼玉県との連携状況について 埼玉県との情報共有、意見交換、検討会議の進捗状況、そして課題解決に向けた連携の在り方について伺う。</p> <p>(7) 前答申の課題を越えるべく市の見解と今後の対応方針について 過去の答申（平成28年4月20日、東京圏における</p>	市長及び 教育長

令和7年第4回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	<p>る今後の都市鉄道のあり方について、交通政策審議会、小委員会、東京12号）において示された課題を乗り越えるための市の認識と今後の対応方針について、市の見解を伺う。</p> <p>(8) 先進技術を活用した構想案の描き方について 先進技術を活用し、構想案を繰り返し描き、ブラッシュアップしていくことは、より良い解決策の創出につながると考える。本市として、こうした手法を取り入れた「まちづくりの更新案」の策定方策について、市の見解を伺う。</p> <p>7 児童虐待通報システムの周知啓発を含む拡充について 本市では、電話通報を担当窓口で受付をする対応や小・中学校での相談体制は丁寧に図られている。しかしながら、電話通報については、隣近所や集合住宅に居住する方から大変苦慮、躊躇するとの声が寄せられている。電子メールでの受付も実施しているが、周知啓発の強化をしていただきたい。デジタル機器及びAIなどを活用したり、フォーム作成ツールを活用したりするなど、児童虐待通報システムを更に拡充してはどうか、市の見解を伺う。</p> <p>8 子育てしやすい支援体制の強化について 社会教育施設や小・中学校を含む市内公共施設で活用しているベビーカーステッカーの現状と周知啓発を含む今後の支援体制について、市の見解を伺う。</p> <p>9 学校プール活動の現状と課題、今後の方策について 小・中学校のプール授業の現状と課題、企業誘致を含む今後の方策について、市の見解を伺う。</p> <p>10 部活動の地域展開の現状と課題及び今後の対策について 本市では、部活動の地域展開を全国に先駆けて進めている。現状と課題、今後の対策について、市の見解を伺う。</p>	市長 市長及び 教育長 市長及び 教育長 教 育 長